



3月31日(火)

朝明けには喜びの叫びがある

聖書朗読 詩篇 30:1~5

私のうちで、思い煩いが増すときに、あなたの慰めが、私のたましいを喜ばしてくださいますように。  
詩 94:19

神様のご性質は純粋な愛です。エレミヤは私たちにこのように伝えています。『私たちが滅びうせなかったのは、主の恵みによる。主のあわれみは尽きないからだ。それは朝ごとに新しい。「あなたの真実力は強い。』(哀歌3:22~23)毎日が主からの新しいあわれみで始まるとは、なんとという贈り物でしょう。

一方、神様の御怒りもまた確かなものです。しかし、それは人間の怒りとは違い、聖く正しく、罪に対する応答であって、感情のコントロールを失ったものではありません。しかもなお、聖書は私たちに確信を与えます。神様の御怒りはつかの間のもので、神様の御恵みは一生に及ぶのです。(詩篇30:5)十字架の物語がその何よりの証しです。愛のゆえに神様はご自身の御子を与えてくださり、御怒りが私たちの最終章とならないようにしてくださいました。

恐れや疑い、不安が重くのしかかる時、私たちはこの揺るがない約束の中に安らぐことができます。その約束とは、暗い夜は永遠に続かないということです。朝は必ずやってきます。そして朝とともに、イエス様にあって、新しい希望、新しいあわれみ、新しい喜びがもたらされます。

讚美歌第二編 191 主のまことはくしきかな

祈り 愛する主よ、あなたが自ら進んで私たちを解放するために払われた大いなる犠牲を、私たちが覚え続けることができますように。あなたが私たちをどれほど深く愛しておられるか、またこれからも愛してくださるかを、決して忘れることがありませんように。イエス様のお名前によって。アーメン。



テネシー州 ヘンダーソンビル / セラーズ・クレイン JR

4月1日(水)

私は神を信頼します

聖書朗読 詩篇 31:1

主よ。私はあなたに身を避けています。私が決して恥を見ないようにしてください。あなたの義によって、私を助け出してください。  
詩 31:1

私はこれまで何回オンライン・バンキング>(\*編注:パソコンやスマホからインターネット経由で24時間いつでも残高照会、振込、明細確認ができる銀行サービス)にログインしたかわかりません。私がオンライン・バンキングを利用するのは、サイトのデザインを眺めたり、小さく書かれた注意書を調べたりするためではありません。たいていは残高を確認したり、支払予定を組んだりするだけです。ところが最近、今まで気にもしなかったある標語に目が留まりました。画面の上部に太字で《合衆国政府の全面的な信頼と信用によって保証されています》とあったのです。

私は思わず笑ってしまいました。本当ですか。何兆ドルもの負債を抱えている政府が、国内すべての銀行のすべての預金を保証するというのは信じ難いように思えます。圧力がかかれば、人間の保証なんて常に破棄されてしまうものです。

このような約束は、人間のいかなる公共施設にとっても重過ぎるものです。しかし、私たちには心から信頼できるお方がいます。主だけが、そのような確信に本当に値するのです。政治家も、裁判所も、経済も、さらには友人や家族でさえ、ときには私たちを見捨てます。しかし、神様は違います。どんな嵐の中でも揺るがずに私たちを支える錨は神様おひとりです。キリストにあって、私たちはどのような圧力に遭っても決して崩れない保証を持っているのです。

讚美歌 512 わがたましいのしたいまつる

祈り 父よ、あなたがこれまで一度も私たちを見捨てず、これからも決してそうならないことを理解するために、私たちはどれほど思い起こされなければならないのでしょうか。毎日、あなたに完全な信頼をおくことを教えてください。イエス様を通してお祈りします。アーメン。

アーカンソー州 サーシー / ジョーデイビッド・キース

4月2日(木)

## 聖書を読む

聖書朗読 詩篇 33:4~8

聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練とのために有益です。それは、神の人が、すべての良い働きのためにふさわしい十分に整えられた者となるためです。

II テモテ 3:16~17

私が小さな女の子だったころ、父は聖書を読むことがいかに大切かを教えてくれました。父と母は毎晩、就寝前に1章ずつ読んでいました。そして父は、この習慣を私にも身に付けてほしいと思っていました。

私も試してはみましたが、正直に言えば、その年ごろの私にとって、聖書はいつもワクワクするものとは限りませんでした。それでも毎晩、父は部屋のドアをノックして、優しい声で「ぐっすりおやすみ。いい夢を」と言いました。そして必ずこう尋ねました。「聖書を1章読んだかな」

私はいつも「読んだわよ」と答えていました。本当は読んでいなくても、父がっかりさせたくなかったのです。けれどもある晩、私はとても疲れて読めませんでした。それで、父が尋ねたとき、ただ「いいえ」と答えました。父は優しく「そうか。忘れないで読んでね。」と言いました。

今でも私は毎日聖書を読んでいます。時には読んで、時には聴きます。そして神のみことばを開くたびに、この生涯の習慣を形成するのを助けてくれた父の静かな粘り強さを思い出します。

聖書は単なる古い本ではありません。私たちの道を照らす生きたともしびです。信仰をもって蒔かれた種は、たとえ小さくても、やがて永久に変わらぬ、命を与えるものへと成長します。

讚美歌 187 主よいのちのことばを

祈り 愛する父よ、私の足のともしび、私の道の導きである、あなたの御言葉に感謝いたします。イエス様のお名前によって。アーメン。

カリフォルニア州 サンディエゴ / キャサ・ウィンザー

4月3日(金)

## 恵みを数える

聖書朗読 詩篇 34:1~8

感謝のいけにえをささげる人は、わたしをあがめよう。その道を正しくする人に、わたしは神の救いを見せよう。」  
詩 50:23

つい最近、小さな日記帳をいただきました。自分への挑戦として、365日間、毎日違う恵みを書き留めることにしました。数か月も経たないうちに、すでに100を超える恵みを書き記していました。うまくいかない日やストレスの多い日でさえ、その中に恵みを見つけることができました。神様は霊的にも、身体的にも、そして物質的にも、豊かに恵みを与えてくださいます。

書き記すたびに、試練の中にあっても神様の愛と守りを思い起こします。多くのページは、家族や友人への感謝で埋められました。またある日には、友人や見知らぬ人から受けた親切について書きました。自然の中にあっては、神様の創造に心を打たれます。鳥や木々、動物、植物、そして昆虫に至るまで、それぞれがすばらしく造られています。またキッチンに立っていても恵みを見つけることができます。家電製品やさまざまな便利な道具が、毎日の暮らしを楽にしてくれます。洗濯と言えば、桶を使い、井戸から水を運んでいた祖母の頃とは、なんという違いでしょう。私たちには、感謝すべきことが本当にたくさんあります。

『日ごとにあなたをほめたたえ、あなたの御名を世々限りなく賛美します。』(詩145:2)

聖歌 604 のぞみもきえゆくまでに

祈り 天の父よ、あなたからの数え切れないお恵みに感謝いたします。私たちに感謝する心を与え、すべての中にあなたの愛を認めることができますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

テキサス州 ヒューストン / ジェーン・ポー・マッセー



4月4日(土)

## 人生は短い

聖書朗読 詩篇 39:1~13

あなたがたには、あすのことはわからないのです。あなたがたのいのちは、いったいどのようなものですか。あなたがたは、しばらくの間現れて、それから消えてしまう霧にすぎません。

ヤコブ 4:14

ある日、車に貼られたステッカーで、【人生は短く、そして死ぬ】という言葉を見ました。初めは、ひねくれた言葉だなと思いましたが、聖書にも人生の短さがよく語られていることを思い出しました。

確かに聖書は、人生は短く、死は避けられないと繰り返し教えています。しかし、信じがたいことに、それは良い知らせなのです。なぜなら、死は物語の終わりではないからです。十字架を通して、イエス様は死に打ち勝たれました。復活が待っているのです。

詩篇39篇でダビデが人生のはかなさを語ったように、私たちもその短さを認めます。しかし同時に、私たちの究極の希望は主にあると告白します。すべての人がイエス様のご支配を認めるその時へと、私たちは日ごとに近づいているのです。それは、平和の時代と愛の永遠が訪れる時でもあります。

私たちは年月が過ぎることを嘆く必要はありません。1年1年が、私たちを天国へと近づけているのです。むしろ、神様に近づくことを喜びながら、周りの人々を愛し、仕え続けていきましょう。

讃美歌 478 海ゆくとも

祈り 主なるイエス様、どうか早く来てください。私たちは、天国であなたと共にいる時を待ち望んでいます。あなたのお名前によってお祈りいたします。アーメン。

テネシー州 ナッシュビル / ゲイリー・ハロウェー



4月5日(日)

## 神様はゆるぎないお方

聖書朗読 詩篇 40篇

私は切なる思いで主を待ち望んだ。主は私のほうに身を傾け、私の叫びを聞き、

詩 40:1

あなたは答えを待ち続けていると感じていますか。神様が何をなさるのかを待つことは、不安で、時には恐ろしく感じるものです。しかしダビデは、神様を信頼することの祝福を私たちに示しています。神様はダビデを絶望から引き上げ、足を巖の上に置き、しっかり立たせ、口に新しい賛美の歌を授けてくださいました。礼拝こそ常に神様の助けに対する正しい応答です。

さらにダビデは、信頼が受け身ではないことを教えています。まだ答えが見えないときにも踏みとどまり、待っている間も賛美を選ぶことです。そうやって信仰は根を張るのです。私たちが神の答えを一步ずつ、待ち続けることで、私たち自身が神様への信仰を証しする者となるのです。

ですから、ダビデのように、神様の信頼を高らかに宣言しましょう。神様に救い出された私たちの証しは、誰かにとって、神様を信頼し続けるための励みになることでしょう。神様のまことは完全で、変わることなく、そして永遠です。

讃美歌 85 主の真理は荒磯の岩

祈り 愛する主よ、困難なときにあなたの助けを待つのは辛いこともありますが私たちを見守ってくださいという、あなたの変わらないお約束に私たちは頼って歩みます。感謝と賛美を捧げます。イエス様のお名前によって。アーメン。

テキサス州 モントゴメリー / デイル・フォスター